

活用事例	6 停電のため放送が使えない場合の避難訓練 【特色】 拡声器による避難の指示、階段の崩落に伴う避難経路の変更		
学校名	周南市立須々万中学校		
日時	平成25年11月29日（金） 5時間目		
場所	教室・グラウンド	参加者	生徒、教職員

1 訓練のねらい

学校が所在する地域に「緊急地震速報」が発令され、授業中に地震が発生した場合に、自分の身を守るための基本的な行動ができるようにするとともに、避難経路の安全を確認しながら、避難場所に整然と避難することができるようにする。

2 訓練の概要

(1) 事前指導

地震発生メカニズムを説明し、基本的な対応について指導する。

- ・地震やそれに伴う火災が発生した場合、放送や教職員の指示に従い、落ち着いて静かに行動すること
- ・地震が発生した場合は、身の安全を確保するために、机等丈夫な物の下に潜り、机であれば対角の足をしっかり持ち、机が倒れないようにすること
- ・放送機器が使用できないこともあるため、教職員の指示に従い、指定してある避難経路を避難すること
- ・グラウンドに避難する際「**お**さない」「**は**しらない」「**し**ゃべらない」「**も**どらない」の約束を守ること

(2) 訓練の実際

① 放送で地震の発生を連絡

「緊急連絡。ただいま、緊急地震速報を受信しました。数秒後に強い地震が発生します。生徒及び教職員は机の下に潜り、身の安全を守りなさい。」



② 職員室等にいる教職員等による避難場所等の状況確認及び情報収集

- ・学校施設の破損、火災の発生の有無
- ・グラウンドまでの避難経路の問題の有無
- ・グラウンド上の亀裂、液状化の有無
- ・土砂崩れなど二次災害の情報の有無
- ・避難場所の決定…グラウンド

- ③ 拡声器による避難の指示…停電により放送機器の使用ができないことを想定

「揺れが収まりました。生徒及び教職員は、周囲に状況に注意しながら、直ちにグラウンドに避難しなさい。なお、屋外を移動する際は、できるだけ建物から離れて避難しなさい。」



- ④ 生徒の誘導…通常の避難経路である1階から2階への階段が崩落し使用できないことを想定

- ・各所の教職員は、生徒を先導し、事前に定めている避難経路に従ってグラウンドに避難を開始するが、2階、3階のクラスは階段が崩落しているため、別の経路を通して避難する。
- ・職員室等にいる教職員は、避難経路の各所に立ち、生徒全員が安全に避難したことを確認した後、自らも避難する。

- ⑤ 点呼

生徒を整列させ、点呼を取り、行方不明者及び負傷者の有無を確認した上で、校長（教頭）に報告する。

3 訓練の成果と課題

【成果】

今回の避難訓練では、緊急地震速報の通報から避難完了まで、生徒が落ち着いて行動を取り、安全に避難を完了させることができた。通常の避難経路が通行できない想定で避難させたが、先導の教職員及び、生徒全員があわてることなく、別経路から避難することができた。

生徒の感想

今日、避難訓練を行いました。小学校とは違い、最初どうしたらよいかわかりませんでした。先生方の誘導で安全に避難することができました。避難時に気を付けることなどを教えてもらい、防災意識を高めることができました。今回は、地震の想定でしたが、私たちの身の回りでは火災や土砂災害などさまざまな災害が起こる危険性があります。いつ、それらの災害にみまわれても落ち着いて行動できるように、これからも避難訓練に真剣に取り組みたいと思います。（1年女子）

【課題】

今回は、授業中の地震発生に伴う避難訓練であったが、地震はいつ発生するかわからないものであり、休み時間等に発生した場合、生徒が落ち着いて判断し、自分の身の安全を守る行動をとることができるかどうかはわからない。教室で教職員が的確な指示が出せれば、安全を確保することが容易にできると思われるが、生徒が校内のいたるところに点在している場合、指揮系統が混乱し、騒然とすることが予想される。日頃から、地震等の自然災害への対応を生徒全員に徹底しておく必要がある。

また、今回は地震単独の災害を想定したが、地震には火災を伴うことが多い。火災が発生したことも交えて、避難経路の安全を確認しながら避難するなどの訓練も今後必要だと考える。